

# 東海国立大学機構

## 施設系技術職員(建築・電気・機械) 業務内容説明



－キャンパス整備計画の企画・立案から施設維持管理までの  
キャンパスマネジメント業務について－

## 業務概要等の説明

- ・ 配属先
- ・ キャンパスの概要
- ・ 施設系技術職員の業務内容
- ・ 近年整備された（今後整備される）建物紹介

## 業務概要等の説明

### ・配属先

- ・キャンパスの概要
- ・施設系技術職員の業務内容
- ・近年整備された（今後整備される）建物紹介



## 令和2年4月より東海国立大学機構が設立

→機構本部（施設統括部）もしくは各大学の病院施設担当に配属

【在籍者数】

施設統括部	岐阜大学	36名	うち施設系技術職員	17名
	名古屋大学	97名	うち施設系技術職員	34名
岐大病院事務部施設管理グループ		3名	うち施設系技術職員	3名
名大病院事務部施設管理担当		18名	うち施設系技術職員	11名

（令和7年3月1日現在 人数には変動があります。）



## 本部事務局

総務部

経営企画部

財務部

教育戦略部

研究戦略部

**施設統括部**

情報環境部

図書館情報部

岐阜大学教学事務部門

名古屋大学教学事務部門

Common Nexus事務部

**岐大病院事務局**

**名大病院事務局**

### 施設企画課

### 資産課

### 建築課

### 設備課

### 環境安全課

経営管理課  
(施設管理グループ)

経理課  
(施設管理担当)



総務係  
企画第一係  
企画第二係  
施設契約係

資産第一係  
資産第二係  
宿舍管理係

建築第一係  
建築第二係  
建築第三係

電気第一係  
電気第二係  
電気第三係  
機械第一係  
機械第二係  
営繕グループ

環境管理係  
安全衛生係  
交通担当

施設管理係  
建築係  
電気係  
機械係



施設企画係  
施設庶務係

資産第一係  
資産第二係

建築係

電気係  
機械係

環境安全係

保全係

## 業務概要等の説明

- ・配属先
- ・**キャンパスの概要**
- ・施設系技術職員の業務内容
- ・近年整備された（今後整備される）建物紹介

## 【学部数・研究科数】2024.4.1現在

**9学部**：文学部、教育学部、法学部、経済学部、情報学部、理学部、医学部、工学部、農学部

**13研究科**：人文学研究科、教育発達科学研究科、法学研究科、経済学研究科、情報学研究科、理学研究科、医学系研究科、工学研究科、生命農学研究科、国際開発研究科、多元数理科学研究科、環境学研究科、創薬科学研究科

## 【構成員数】※名古屋大学プロフィール2024より

**約20,200人 + 約900※人** ※機構事務局(岐大勤務含む)

↓  
うち、**学生数**：約16,400人、**附属学校生徒数**：約600人、**教職員数**：約3,200人

## 【土地・建物】2024.5.1現在

**団地数：104団地**

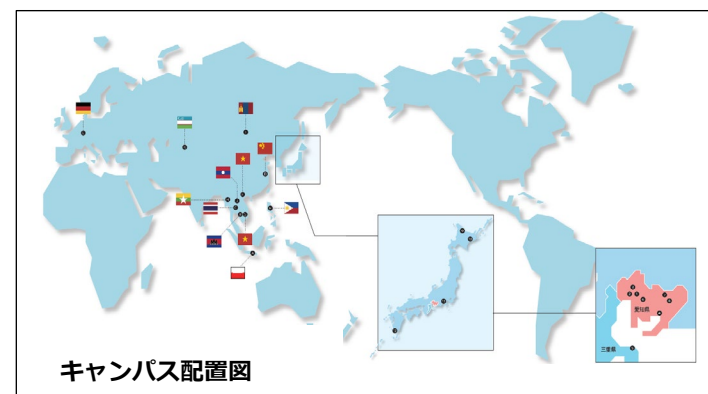
※主要キャンパスである東山、鶴舞、大幸キャンパスの他、  
宿舎、農場、観測所、海外サテライトなど

**土地総面積：3,125,063m<sup>2</sup>**

※東京ドーム67個分の面積

**建物総数：409棟**

**建物総面積：831,727m<sup>2</sup>**



敷地面積 : 698,711m<sup>2</sup>  
建物面積 : 517,856m<sup>2</sup>  
建物数 : 236棟

東西に約1.4 km

標高約80m(最高)

標高約30m(最低)

南北に約0.7km

2020.8.28 航空撮影

東山キャンパス (※医学部以外の全学部・研究科、附属学校)





敷地面積 : 89,876㎡  
建物面積 : 218,526㎡  
建物数 : 23棟

2020.8.28航空撮影



敷地面積 : 48,463㎡  
建物面積 : 30,660㎡  
建物数 : 17棟

鶴舞キャンパス  
(※医学部、附属病院)



大幸キャンパス (※医学部保健学科)

大幸キャンパス  
(令和2年8月撮影)

## 【学部数・研究科数】2024.4.1現在

**6 学部**：教育学部、地域科学部、医学部、工学部、応用生物科学部、社会システム経営学環

**8 研究科**：教育学研究科、地域科学研究科、医学系研究科、工学研究科、自然科学技術研究科、  
共同獣医学研究科、連合農学研究科、連合創薬医療情報研究科

## 【構成員数】※岐阜大学概要2024より

**約10,400人**

うち、学生数：約7,300人、附属学校生徒数：約900人、教職員数：約2,200人

## 【土地・建物】2025.3.1現在

**団地数：10団地**

※主要キャンパスである柳戸，加納キャンパスの他、  
宿舎、農場、演習林、観測所など

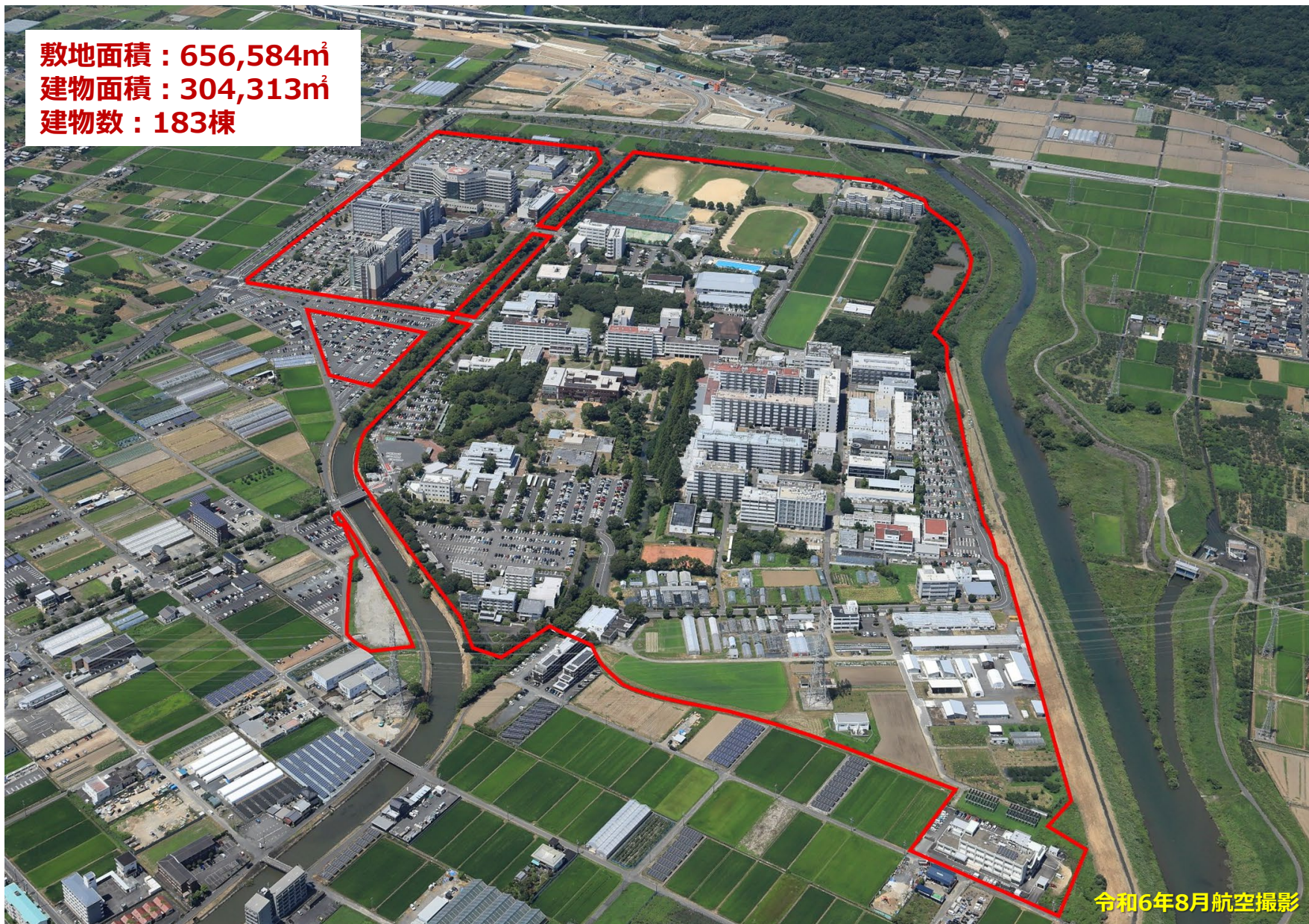
**土地総面積：6,580,585m<sup>2</sup>**

※東京ドーム約140個分の面積

**建物総数：237棟**

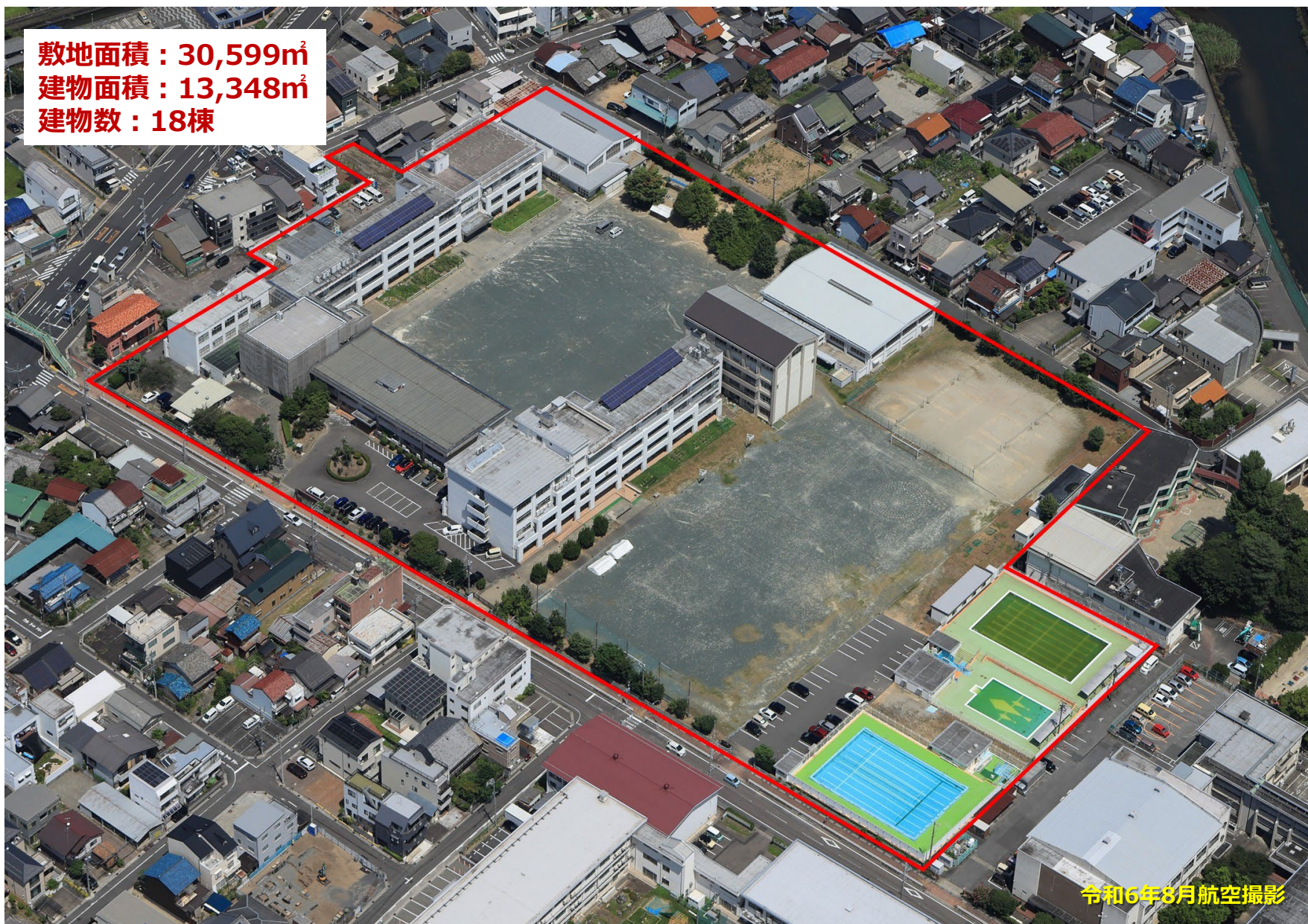
**建物総面積：333,480m<sup>2</sup>**

敷地面積：656,584㎡  
建物面積：304,313㎡  
建物数：183棟



令和6年8月航空撮影

柳戸キャンパス（※全学部・研究科、附属病院）



加納キャンパス (※附属小・中学校)

## 業務概要等の説明

- ・配属先
- ・キャンパスの概要
- ・施設系技術職員の業務内容
- ・近年整備された（今後整備される）建物紹介

施設系技術職員の業務内容は、

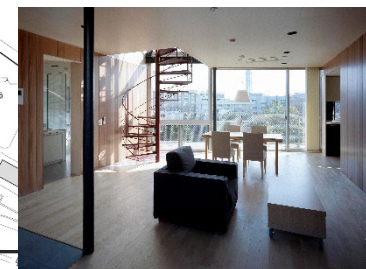
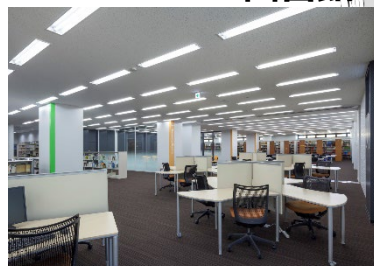
- よりよいキャンパスづくりを目指し、企画段階から整備、完成後の維持管理まで、総合的にマネジメントすることです。
- 多岐に渡る業務があり、様々な業務を体験することができます。
- ひとつの「まち」にたとえられるキャンパス内には、校舎、病院、図書館、食堂、カフェ、宿舎、保育園、体育館、など、様々な施設があり、その計画、整備に関わることが、国立大学法人の施設系技術職員の特徴です。

ひとつの「まち」として存在するキャンパス内には、最先端の研究や教育を行う研究棟や校舎だけではなく、図書館、食堂、カフェ、宿舎、保育園、体育館など、多岐にわたる建物があり、あらゆる面から教育研究活動を支えています。

研究実験棟

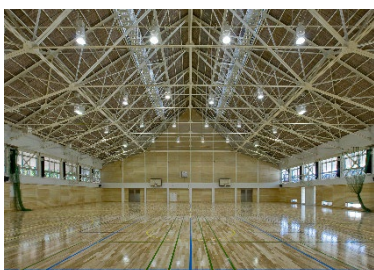


図書館



外国人研究者宿舎

食堂



体育館

カフェ



留学生宿舎

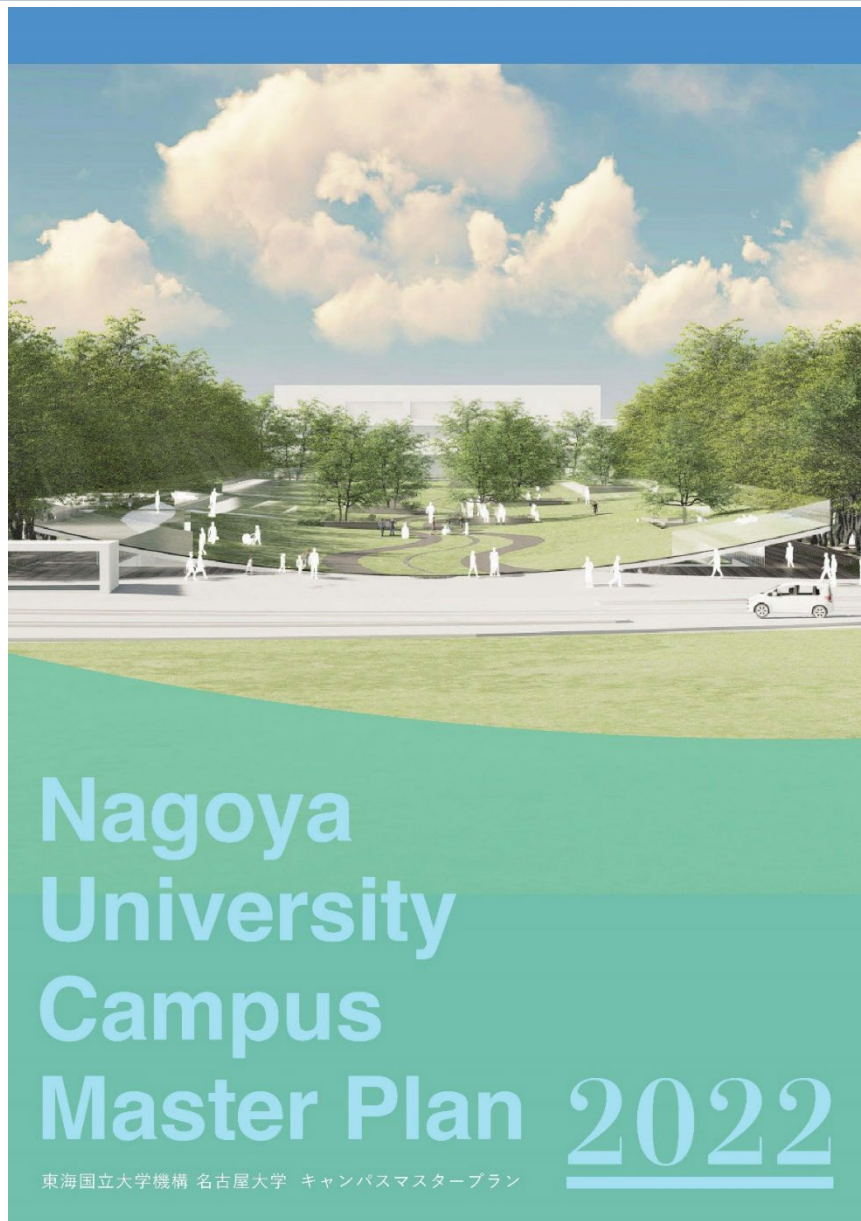


保育所・学童



- ① **施設整備の企画・提案、キャンパスの将来計画**（CMP等）
- ② **施設の整備計画、設計、積算、発注、工事監理、検査等**
- ③ **施設の維持管理**（保守点検、運転監視、修繕等）
- ④ **キャンパスの環境整備・保全**  
（緑化、交通、サイン、バリアフリー等）
- ⑤ **施設マネジメント**  
（省エネルギー、スペースの有効活用、  
施設の長寿命化、資産活用、環境安全等）





名古屋大学キャンパスマスタープラン



岐阜大学キャンパスマスタープラン

現在の東山キャンパス（令和3年3月）



30年後の東山キャンパス



### 設計・積算



### 工事監理

設計・積算業務は、利用者の要望を取り入れながら、予算を最大限活かし、コストバランスを考えて行います。

学生寮から高度な研究施設まで、幅広い施設に携わるチャンスがあります。設計によって、豊かな学生生活や先進的な教育研究成果につながる施設を生み出せるのが魅力です。

キャンパスの目標が実現できるよう、デザインやエネルギー等をマネジメントするのも大学ならではの大事な仕事です。



建築系教員も交え、模型を確認しながら建物意匠を決めています。

自分達でも設計図面を描きますが、規模が大きい場合は設計を外注し、設計事務所が描いた図面をチェックします。



工事監理業務は、設計段階で計画したことを実現する仕事です。施工の段階で見えてくる問題点を改善し、利用者と密に打合せし深く理解することで、利用者が満足できる建物を作っていきます。

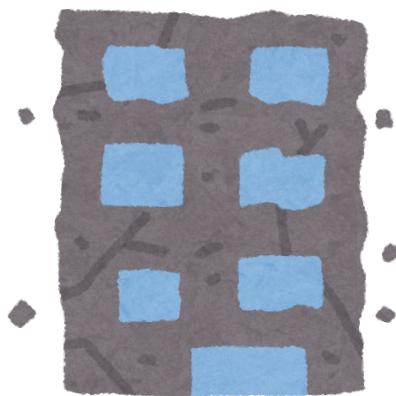
建物が完成した時や自分のアイデアが実際に形となった時には、達成感を得ることができます。



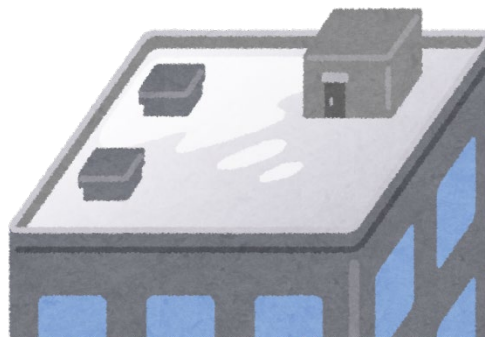
配筋検査の様子。構造に係る重要な検査です。

利用者だけでなく、建築設備系教員とも打合せを重ね、建物単体だけでなく、キャンパス全体の視点を取り入れ、よりよいキャンパス空間を創造しています。

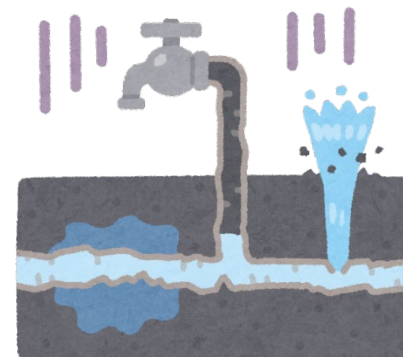
## 施設、ライフライン等の老朽化等による**不具合・事故が発生**



コンクリートの劣化  
による剥落



防水の劣化による雨漏り



給水管の腐食による  
漏水発生



- 教育研究上の支障が発生しないよう、**速やかに修繕や改修を実施**
- **未然に事故を防ぐために計画的に維持管理（保守点検・修繕等）を行うことが重要**
- **そのために、予防保全を中心とした施設修繕計画を策定**

## 学生のキャンパス生活を魅力的なものにするため、 キャンパスの環境整備・保全を実施



外構整備



サイン整備



ユニバーサルデザイン対応整備



緑地整備・保全

### 施設マネジメントとは、

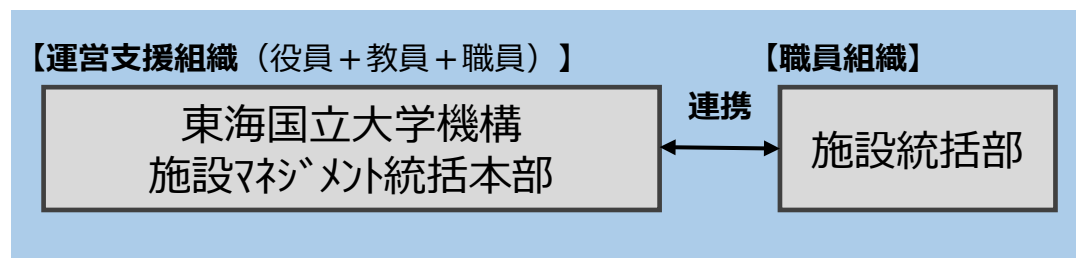
管理・保有する施設・設備について、総合的かつ長期的視点に立ち、教育研究を支援するための様々な取り組み



- ✓ 経営的観点に立ち、建物の長寿命化や計画的修繕、省エネルギー対策、スペースの有効活用などの取り組みが重要
- ✓ 今後の施設系職員は、単なる技術力・専門知識だけでなく、様々な業務に取り組む中で、**幅広いマネジメント能力を身に着けていくことが必要**となってきます

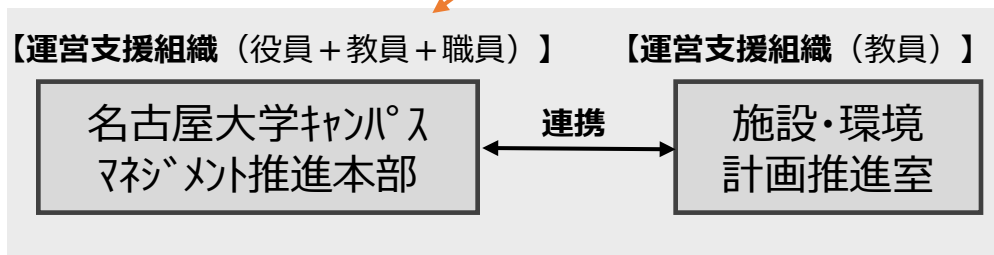
- ・名古屋大学では、建築系の**教員組織**である施設・環境計画推進室と、**職員組織**である施設管理部との**教職協働体制**により、30年近く、様々な施設マネジメントに取り組んでいます（日本建築学会賞（業績）受賞等）
- ・**機構設立を契機**に、大学間の連携を含め、**より強固な体制**に再構築し、今後も継続的に教職協働による施設マネジメントに取り組んでいきます

## 東海国立大学機構

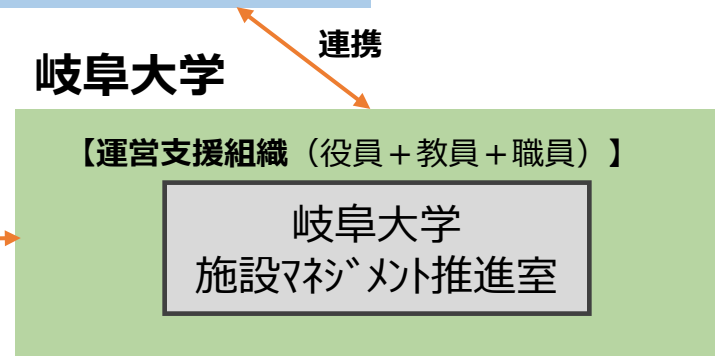


連携

## 名古屋大学



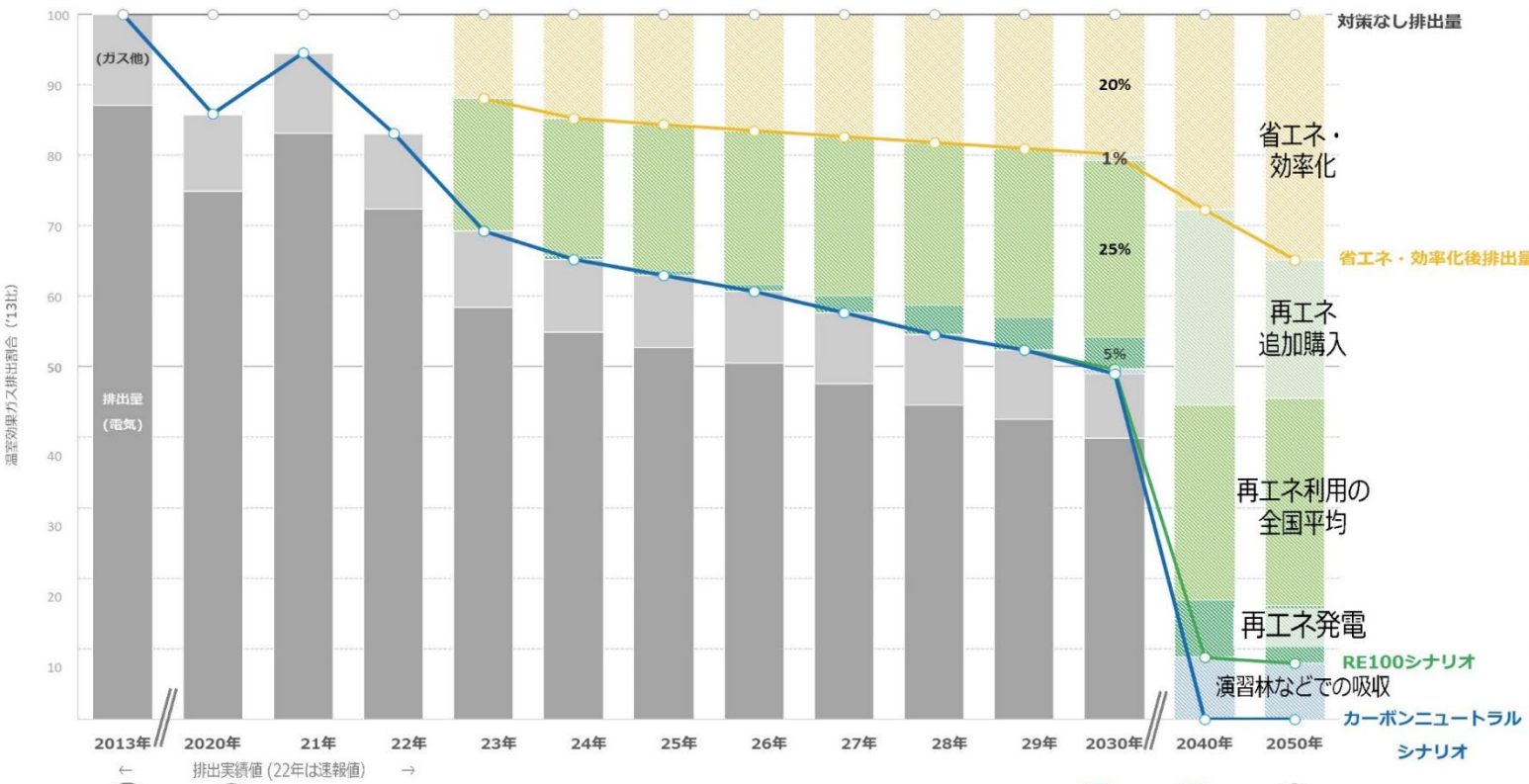
## 岐阜大学



## カーボンニュートラルロードマップ

### 機構の目標

2030年に温室効果ガスを51%（2013年比）削減し、2050年までのできるだけ早い時期にカーボンニュートラル実現



**省エネ・効率化**

- ・2023年以降は、キャンパスマスタープランでのエネルギー削減目標と同レベル(2019年度比年1%減)。2024年にESCOを実施。
- ・電化等・2020年までの効率化含む。

**再エネ**

- ・再エネ発電：2030年までにオンサイトで3.9M、オフサイトで2.5Mの導入を試算。
- ・再エネ利用の全国平均：国のエネルギー基本計画に整合させ(2030年38%)、国内の再エネ率の増加を織り込む。
- ・再エネ追加購入：RE100目標に向け、不足分の再エネを明示的に購入する。

・2030年からは演習林Jクレジットの500t-CO<sub>2</sub>の削減を見込む。2040年以降は、クレジット等での追加対策を見込む。





## 業務概要等の説明

- ・ 配属先
- ・ キャンパスの概要
- ・ 施設系技術職員の業務内容
- ・ 近年整備された  
（今後整備される）建物紹介

外観



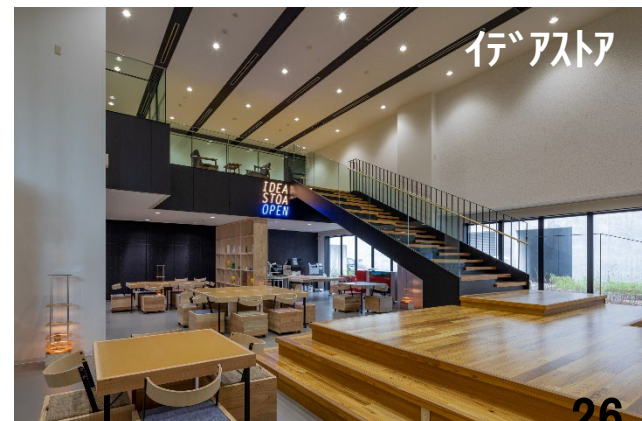
車両実証実験室



ブラウジングコーナー



イベントスペース



外観



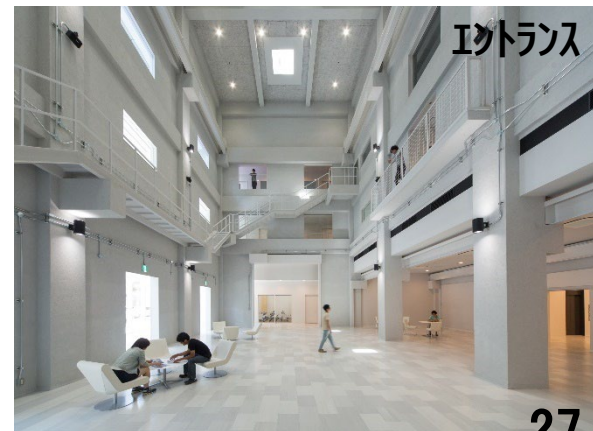
Mix-Lab (実験室)



Mix-Lab (研究室)



エントランス



外観



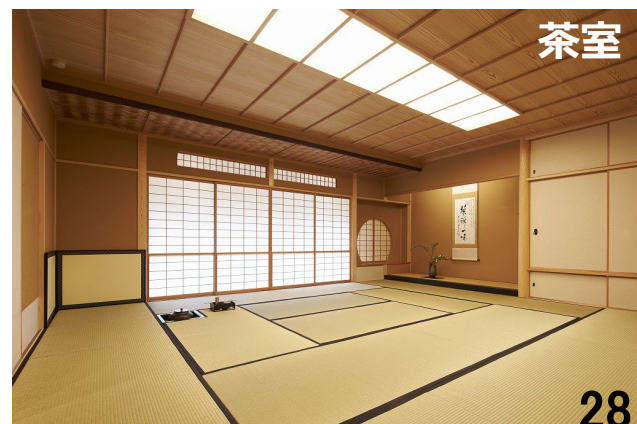
ホール (CALEアコラ)



カンファレンスルーム



茶室



外観



手術室



放射線治療室



クリニカルシミュレーションセンター



外観



エントランス



クリーンルーム



イロールーム



外観



ギャラリーラウンジ



レuzzi コモンズ



フリーアドレス研究スペース



外観



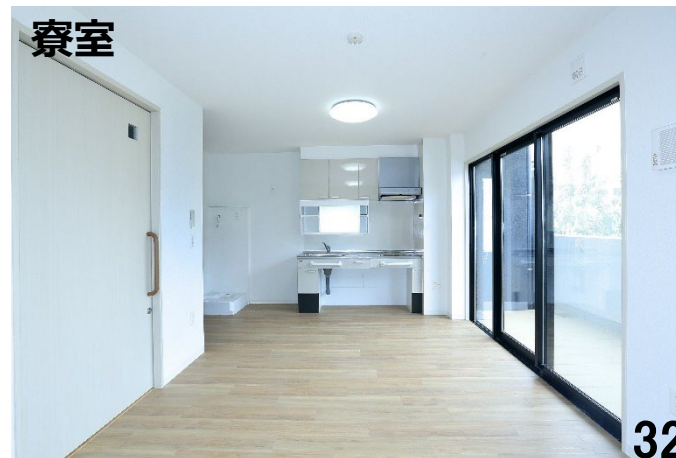
交流スペース (dining & kitchen)



共用階段

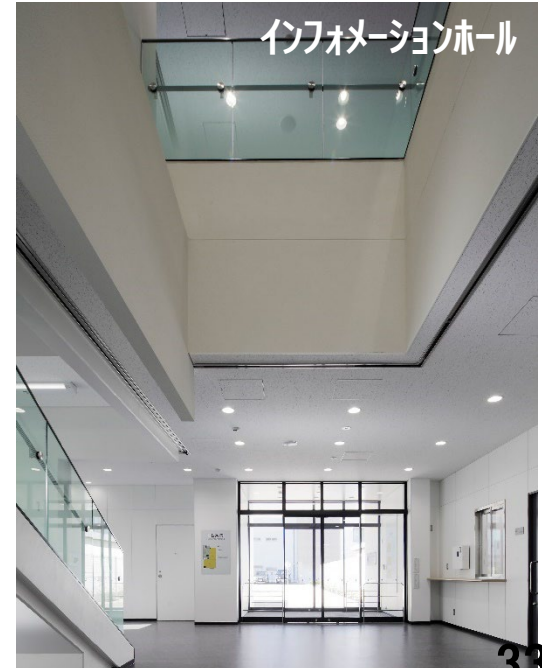


寮室





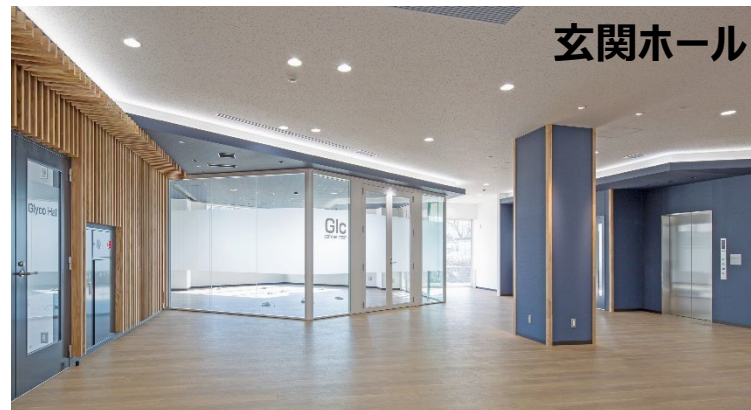
外観



外観



玄関ホール



糖鎖分析実験室



NMR室



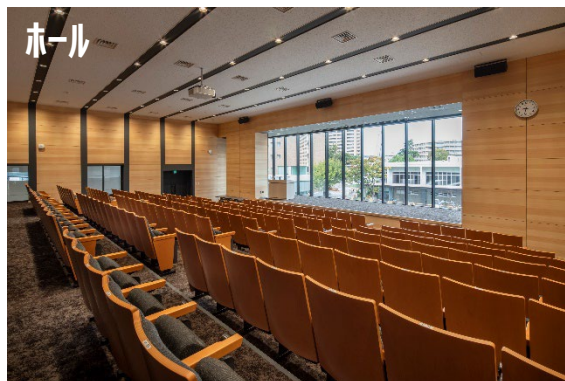
## 外観



## 学修支援ハース



## ホール



## 展望ラウンジ



外観



外観



ワーキングエリア



ワーキングスペース



リフレッシュラウンジ



外観



えんがわ



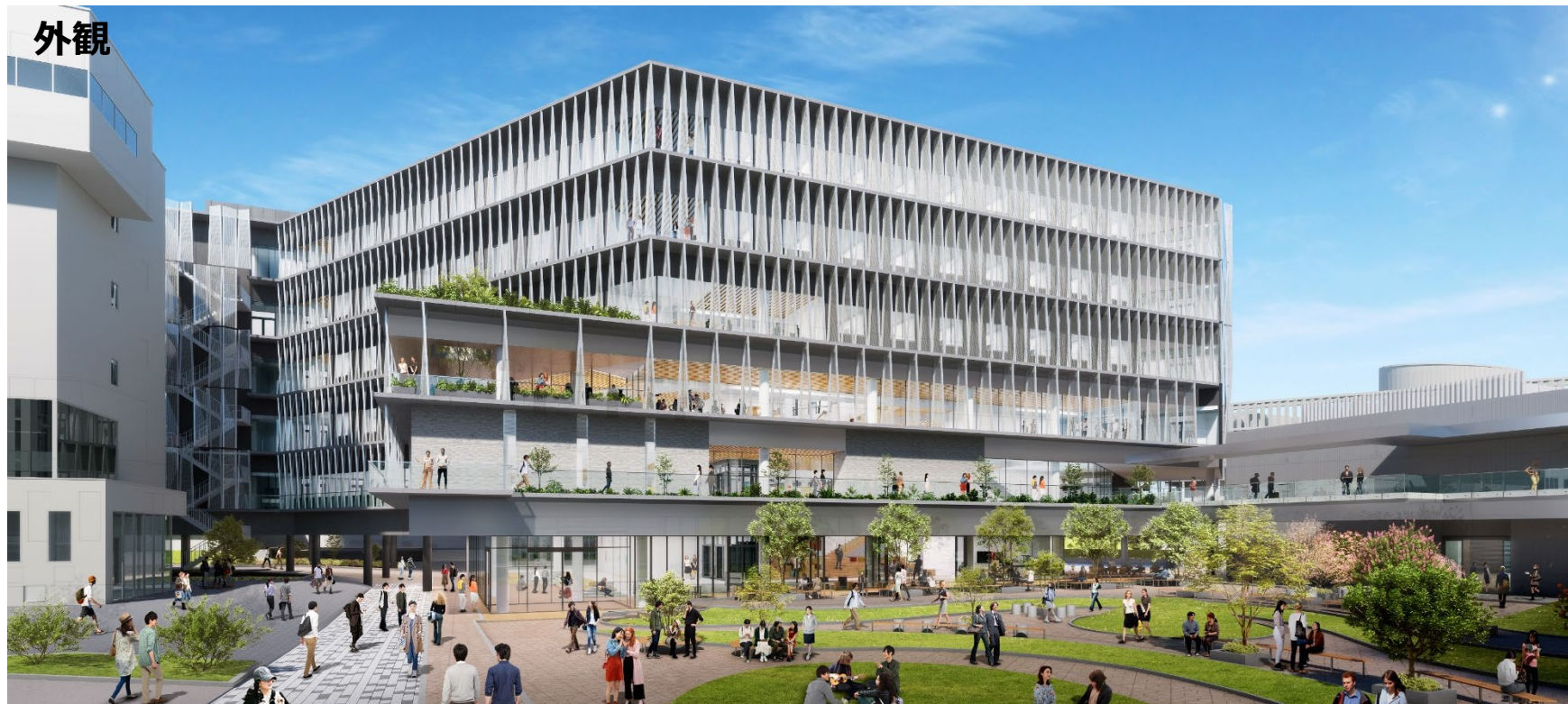
ホール



アクティブラーニングスペース



外観



ステップ・コモンズ



中央吹抜け



詳細な業務内容の説明を希望される方は、  
下記までご連絡下さい。

国立大学法人東海国立大学機構  
施設統括部施設企画課総務係

TEL: 052-789-2115

Mail: s-sou@t.thers.ac.jp